

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 26日

事業所名 PARC(パルク)ふくしま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		写真や絵カードを使いながら、お子様が自主的にお片付けが出来るような環境を整えている。また、来所・降所時の動きを分かりやすく視覚化し、お子様が見て行動できるようにしている。	今後、お子様がさらに集中できる環境を整えていけるように、パーテーションなどをうまく使いながら環境の構造化も検討の余地あり。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎時間ごとに整理整頓を行い、清潔な環境で思いっきり遊んでいたできるように心掛けている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			業務改善は適宜、話し合いながら行っているが、まだまだ曖昧な部分もある為、全スタッフが統一した見解をもって業務に取り組めるように目標設定と振り返りを行っていきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフそれぞれが適宜研修に参加し、各自の知識・技能向上に努めている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	状況に応じて標準化されたアセスメントツールを使用している。	療法士が必要に応じてアセスメントツールを使用することがあるが、全ての方には利用出来ていない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月スタッフが集まり、遊び方を開発できるように会議を開いている。教室にある遊具の性能を考慮したうえで、新しい遊び方を検討していく。お子様に楽しく新たなチャレンジをして頂けるように話し合いを行う。それぞれの日々の療育の視点を活かしながら、大人も楽しみながら遊び方開発を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		適宜、他児が行っている事を意識できるようにスタッフからの声掛けも行っている。興味を持てたら小集団で遊ぶようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で前回の様子を振り返り、前回からの変化や注意点を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		次回利用時に前回の様子を振り返る。特記事項や急ぎの共有は適宜その日中や翌朝に共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事業所内で意見を集約してから会議に参加をしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		年長児の卒業時にパークでの療育のまとめをお渡ししている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育内で気付いたこと、最近の変化なども含め保護者の皆様と共有させて頂きながらリアルタイムで成長を実感して頂くようにしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約の際に丁寧にお伝えするようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回保護者同伴でご来所いただいているため、お子様の成長を確認しながら適宜ご相談にも対応できている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は年長児の保護者と就学児の保護者間の会も開催できた。今後も適宜ニーズを伺いながら対応していきたい。	次年度は回数をもっと増やしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		教室にはご意見箱を設置しているため、適宜対応できている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援やそれぞれ理解しやすい方法を活用しながら、成功体験を積めるように考慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		これまではコロナのこともあったため、なかなか難しかった。今後は少しずつ検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			避難訓練はできているが、様々な想定 of 訓練は今後行っていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			今後はお子様の様子を見ながら、出来そうであれば一緒に参加して頂きながら様々な訓練を行っていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		組織的な規定はあるものの、教室から外に遊びに行くことも増えてきたため、改めて保護者の皆様と相互理解を深めていきたい。